



CODE
Letter

2006.12.27 VOL.32

(特活) CODE海外災害援助市民センター発行
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL: 078-578-7744 FAX: 078-574-0702
e-mail: info@code-jp.org URL: http://www.code-jp.org/
郵便振替: 00930-0-330579

お品書き

【その巻】 CODEレター VOL.32

【その式】 各種イベント・チラシ

以上

「ジャワ島中部地震6ヶ月目の被災地を訪ねて」

理事・事務局長 村井 雅清
(被災地NGO協働センター代表)

11月27日でジャワ地震から6ヶ月が過ぎた。みなさまのご支援で実施してきたポトクンチェン集落RT-2(バンドゥール県バングンタパン市ウィロケルテン村)の25軒の住宅再建プロジェクトは、おかげさまでほぼ完了した。被災者は口を揃えて「やっと家が完成した。嬉しい!」と喜んで下さった。村のみなさんにとっては「住まい」は確保したけれど、これから「暮らし」を創って行かなければならない。エコ・プラワットさん(住宅を設計した建築家)やこの集落のRT長ソギマンさんと話したのは、「最近ではゴトンロヨン(相互扶助の慣習)もだんだん薄くなってきている。これからはコミュニティの力をもっともっと強くしなければならぬ。」ということだった。エコさんは「暮らしを築いていく中で、よりコミュニティが強くなる。そして経済の外圧に負けることなく、地域経済の自立を目指さなければならぬ」と熱く語っていた。

「そうなんだ!阪神・淡路大震災から12年が経ったが、私たちもエコさんのような視点でこの被災地とこれからも向き合わなければならないんだ!」と意を強くし、大きな学びを得たような気がする。やはりエコさんは、師匠ロモ・マンゲンさんが歩んだCODE川のスラム再建と同じ道筋を歩もうとしているのだ。被災地ジャワで、エコ・プロジェクトが永遠に続くことを願いながら、また再開することを期待したい。

ところで、「CODE川(チョデ川)」のバンブーハウス群は、今も日々変化を遂げている。わずか数時間の訪問だったが、私たち日本人にとっては忘れられないできごとに出会った。迷路のような川沿いの集落を歩いていると、真っ黒に日焼けした老人が、畳2枚くらいの広さのバンブーハウスでマッサージをしていた。そのお爺さんは私たちを見ると日本人とわかったのか、「こんにちは!」と大きな声で声をかけられた。「えっ!」と一瞬立ち止まり、家の中を覗き込むようにその老人と話しはじめた。彼は日本軍との戦争で「衛生兵」として日本軍で働いていたそうだ。しばらくすると彼はゆっくり

と「君が代」を歌い出した。特に災害援助で、アジアの国に来て最も考えさせられるのは日本軍がもたらした「戦争」だ。何も語ることは要らない!なんら解説も要らない!この老人が朗々と歌う「君が代」がすべてを語っている。日本とインドネシアは、切っても切れない関係があるのだ。

一方、皮肉なことに、日本とインドネシアはアジアでも有数の地震国でもある。もっと昔の1万年もまえに遡ると、同じ先祖であるという説もあるのだが、それはさておき、阪神・淡路大震災という大地震を経験したKOBEの市民として、お互い減災社会を目指して、国境を越えての民際交流を継続的なものにして行きたい。「災害」には、戦争もあることを肝に銘じながら。

(CODE川: ジョグジャカルタ市内を流れる川。下流の一部に貧しい人達が住みつき、不法滞在として歳々、政府と衝突をしていた。1980年代に、ここにロモ・マンゲンさんが入り、竹をヤシの木などを使用した家を建て、住民も同じように竹の家を建てるようになった。家の壁面に、淡いピンクやブルー、グリーンなどの色を塗り、スラム化していたのが目を見張るほどに変わってしまった。やがて住民の運動によって隣接するRTが、正式にRTとして認めてくれ自立する。ロモ・マンゲンさんは亡くなり、没後「バンブーハウス」という本が出版され、多くのジョグジャカルタ市民に愛されるようになった。約20年経った今も、日々変化を遂げている)



(ニュースより編集)

連続セミナー「NGOことはじめ」

「NGOことはじめ」は「NGOとは一体何なのか？」を切り口に、今のNGO活動や、国際協力の現状と課題、市民が国際協力で果たす役割とはなんなのか、を参加者とともに考えていく講座です。今年は食事を挟んだ寺子屋ふうで、会場はCODEの会議室。15名定員のアットホームなセミナーです。

第1回「NGOってなに？」

【日時】2006年12月15日（金）18:30-21:00

【講師】榛木恵子（CODE理事、関西NGO協議会事務局長）

現在さまざまな場面で注目されるNGO。NGOって何？どんなことをしているの？いつから活動が活発になってきたの？などなど、そもそもNGOとはどんなものなのか、さまざまなNGOの現状や課題に幅広く通じている榛木さんに入門編的にお話し頂いた。



第2回「アフガニスタンの今 - 子ども教育支援を通して」

【日時】2007年1月12日（金）18:30-21:00

【講師】市川斉（シャンティ国際ボランティア会）

「9.11」から5年が過ぎた。イラク同様、アフガニスタンでも治安は悪化し、復興に影が差し始めた。そうした中『ハジババと1000頭のロバ～震災・神戸からアフガニスタンへ～』の著者市川斉は、アフガニスタンの東部、パキスタンとの国境近くのジャララバードを拠点に、2年間絵本をとおしてコツコツと教育活動を続けてきた。一体その成果は、いかに？1981年SVAの発足以来、今も脈々と続いている「援助」の思想とは何か？アフガニスタンでの教育活動を通して市川斉が語る「SVA思想」とは？

第3回「災害救援と国際協力」

【日時】2007年2月9日（金）18:30-21:00

【講師】村井雅清（CODE理事・事務局長、被災地NGO協働センター代表）

前2回のセミナーを受けて、参加者が感じたNGOに対する関心と疑問を論じ合う。主役は参加者一人ひとりで、事務局長の村井がコーディネートします。

2007年1月のイベント紹介

毎年1月は震災関連の行事が目白押しですが、その中からいくつかご紹介します。チラシを同封しているものもありますので、是非ご参加下さい。

【脆弱な階層・脆弱な地域の復興支援】

被災地円卓会議（第3回被災地交流集会）

日時：1月13日(土)14:00～17:00

会場：関西学院大学学生会館新館3階・会議室9

主催：関西学院大学復興制度研究所

神戸、新潟、鳥取、三宅、長崎……。様々な視点から議論する。

<議長団>

渥美公秀（大阪大学助教授） 村井雅清（被災地NGO協働センター代表） 宮原浩二郎（関西学院大学教授）

連続シンポジウム

日時：1月14日(日)10:00～17:00

会場：兵庫県公館・大会議室

主催：関西学院大学復興制度研究所

内容：基調報告 井戸敏三（兵庫県知事）

山中茂樹（関西学院大学教授）

シンポ1部「脆弱な地域」

北川フラム（アートディレクター） 天川佳美（まちづくり㈱コープラン） 中貝宗治（豊岡市長） 豊田利久（広島修道大学教授）

コーディネーター 林宣嗣（関西学院大学教授）

シンポ2部「脆弱な階層」

柳田邦男（作家） 島本慈子（ルポライター） 永井幸寿（弁護士） 鈴木敏正（日本総研理事）

コーディネーター 宮原浩二郎（関西学院大学教授）

申込・連絡先：関西学院大学復興制度研究所

FAX:0798-54-6997 URL:<http://www.fukkou.net/>

【災害メモリアルKOBÉ2007】

テーマ：未来へ語ろう！わたしたちの体験

世界で行動する先輩と災害を学ぶ

日時：1月13日(土)10:00～16:00

会場：人と防災未来センター

主催：災害メモリアルKOBÉ実行委員会

内容：作文発表「先輩の活動に学ぶ」

神戸市立なぎさ小学校5年生、6年生、

神戸市立渚中学校1年生

ミニコンサート（アンサンブルシヴィル）

パネルディスカッション「行動しよう世界で」

塚澤幸子（早稲田大学大学院2年生） 中野元太（立命館大学1年生） 岸本くるみ（神戸学院大学2年生）

コーディネーター 諏訪清二（兵庫県立舞子高校教諭）

申込・連絡先：災害メモリアルKOBÉ実行委員会事務局

（人と防災未来センター総務課内）

TEL:078-262-5060 URL:<http://www.dri.ne.jp/>

【国際津波・地震フォーラム 国際シンポジウム】

テーマ：兵庫行動枠組みの進捗状況と津波・地震災害からの復興

日時：1月15日(月)10:30～17:30

会場：神戸国際会議場

主催：IRP事務局、日本政府、兵庫県 他

内容：開会挨拶

防災担当大臣、外務副大臣、兵庫県知事、UNDP次席総裁補

基調講演

マリボンヌ・プレシ・フレサール(世界銀行 交通・都市開発局長)

津波・地震復興報告

インド、インドネシア、パキスタン、スリランカ
インド洋津波警戒体制の整備状況報告

パトリシオ・ベルナル(ユネスコ政府間海洋学委員会事務局長)

パネルディスカッション「HFAの進捗状況と災害からのより良い復興」

内閣府、アジア防災センター、UNDP、UN/OCHA、ILO 他

ファシリテーター サルバノ・プリセーニョ(ISDR事務局長)

コメンテーター 各被災国代表、世界銀行、イアン・デービス(クランフィールド大学客員教授)

申込・連絡先：IRP(国際復興支援プラットフォーム)事務局

FAX:078-262-6046

URL:<http://www.recoveryplatform.org/jp/>

【2007国際防災シンポジウム】

テーマ：知っておこう、世界の防災文化
～すまい・まちづくりの視点から～

日時：1月18日(木)13:00～17:00

会場：よみうり神戸ホール

主催：UNGRD、讀賣新聞大阪本社、

内容：基調講演1「世界各国の住宅文化と防災対策」

C.V.R.・ムルティ(ワールド・ハウジング・エンサイクロペディア編集長)

基調講演2「誰がわれわれの住宅の耐震安全性を向上させるのか」

小谷俊介(千葉大学教授・前日本地震工学会会長)

防災教育映像「幸せ運ぼう」

事例発表

インドネシア、ネパール、ペルー、串本町、UNCRD

パネルディスカッション「新しい防災文化を築くために何をすべきか」

岡崎健二(政策研究大学院大学教授)

ほか事例発表者より3名

申込・連絡先：UNCRD兵庫事務所

TEL:078-262-5560 URL:<http://www.hyogo.uncrd.or.jp>

活動記録 9/16～12/25

9月14～20日 ジャワ島中部地震第3次調査(横山)

9月18日 防災士研修 札幌会場(村井)

9月23日 防災教育フェスティバル(土木学会主催)に参加
ボランティアの日(CODEレター31号発送)

9月24日 NGO大学パネリスト(細川)

9月27日 神戸学院大学 防災・社会貢献研究会(村井)

10月10日 舞子高校で講演(村井)

10月21日 21世紀文明研究セミナー(細川・横山)

10月24日 JVCタイ研修生レクチャー(細川)

10月27日 JVCタイ研修生レクチャー(村井)

11月7日 UNCRD国際シンポジウム実行委員会(村井)

11月9日 World Topics in Sayoで講演(村井)

11月10日 防災士研修 倉敷会場(村井)

11月13日 アンデス災害医療Mコース講師(村井)

11月17日 11月度理事会

11月19～25日 ジャワ島中部地震第4次調査(村井)

11月28日 あかしあ台小・家庭教育学級運営委で講演(村井)

11月29日 神戸学院大学 防災・社会貢献研究会(村井)

12月6日 龍谷大学で講演(村井)

12月15日 第1回NGOことはじめ(講師：榛木)

12月16日 防災士研修 神戸会場(村井)

ありがとうございます 9/16～12/25

会員・寄付者ご芳名(以下順不同・敬称略)

一般寄付

- ・個人：赤田義久(兵庫) 春日千明(岡山) 高木清(奈良) 加納敏一・真由美(滋賀) 高橋澄枝(栃木) 島本久嗣(埼玉) 鶴飼愛子(静岡) 三島宣彦、下村純央(以上東京)
- ・団体：あかしあ台小学校PTA、神戸学院大学学院祭(兵庫)

会員

正会員

- ・個人：大津暢人、村上忠孝、牧田稔(以上兵庫)

賛助会員

- ・個人：岡本芳子、山本千佐子、鶴飼卓、岸田三枝子、高橋智子(以上兵庫) 鶴飼愛子(静岡) 大江浩(神奈川) 中村安秀(大阪) 奥野高久(岡山)
- ・団体：林山朝日診療所(兵庫)